

南の国からの おいしいゼリーの贈り物

沖縄県本部町ではアセローラが初出荷された1999年

5月12日を記念して「5月12日をアセローラの日」として制定(日本記念日協会登録)し、記念の日には、記念事業の一環として町内小中学校の給食にアセローラゼリーが配膳されます。

今年も、南富良野町の児童・生徒にも本部町の初夏を味わってもらおうと、甘酸っぱくておいしいアセローラゼリーが町内各小・中学校に届けられ、給食の時間に全員で



よろこんで食べていました。アセローラゼリーを食べた幾寅小学校の6年生たちはみんな「おいしいね」と話しながら、本部町を訪問する日に心躍らせていました。

本部町とは国民体育大会カヌー競技会がとりもつ縁で、気候・風土の違いを活かした北と南の町の交流が始まり、平成8年には友好の町の「盟約調印」が交されています。

平成2年から続けている児童の派遣事業「南の国の真夏に挑む体験の旅」が、本年度で20回目を向かえ、6月に事前研修などを行い、6月28日(月)から7月2日(金)までの4泊5日で町内小学6年生全員(16人)が本部町を訪問します。

本部町では、学校での共同学習や琉球ガラス工芸体験、ホームステイなどを通して文化や歴史、生活様式の違いなど見聞を深め、南の国の真夏を体験してきます。

下金山ちびっ子剣士 大 健 闘

4月29日に開催された第43回富良野剣道連盟会長杯

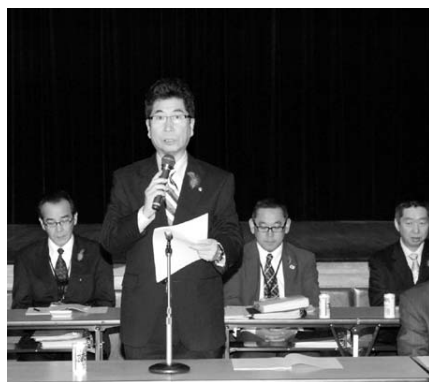


少年剣道大会団体低学年の部に下金山の子どもたち4人(渋谷磨磨くん・渋谷昌樹くん・及川ななほさん・永井春輝くん)を含む5人が出場し、大健闘の結果、見事優勝しました。

町内には剣道少年団がないため、下金山の子どもたち7人が近隣の山部剣道少年団に所属し、毎週2回(火・木曜日)山部で練習しています。応援した父母は「全てが僅差の試合で応援に熱が入りました。練習の成果を出せてよかったです。」と子どもたちの成長を喜んでいました。

町行政の理解と協力を願う

平成22年度出張員会議



推進するための「町民参加のまちづくり」など町の重点施策の概要と町政執行にあたっての所信と基本方針を述べ、各担当課長からそれぞれの所管事項について説明を行いました。

このあと、質疑応答に入り、「路肩草刈の時期」「廃屋周辺の環境整備」「交通安全の取組み」などについて質問や要望が出され、町としての考え方を述べることも今後の町政に理解と協力をお願いしました。

町政執行にあたり、町民皆さんに協力を願うことを目的に毎年行なわれている出張員会議が、5月14日にみなくなるで出張員の皆さん24名と連合町内会長3名が出席し、開催されました。会議では、はじめに池部町長から町政を取り巻く諸情勢や国の経済危機対策による本町の取り組みとして南富良野中学校の校舎改築やテレビ放送難視聴地区解消と高速インターネットサービスの利用拡大のほか、道路・住宅施設などの整備や木質バイオマスエネルギーを活用した林業振興、農業、商工業の振興、福祉・医療の充実や地方自治を



特集

まちの話題・出来事

総合型地域スポーツクラブ誕生

地域活動レポート

カメラレポート

教育委員会通信・発信@みなくる

保健師です・子育て支援センター

お知らせ